

## Times Higher Education World University Ranking 2010-11 について

Times Higher Education World University Ranking 2010 が 9 月 16 日に公表された。

2009 年までは QS 社と提携していたが、今年度からは Thomason Reuters 社と提携している。日本の大学では、東京大学が 26 位（昨年 22 位）、京都大学が 57 位（昨年 25 位）、東京工業大学が 112 位（昨年 55 位）、大阪大学が 130 位（昨年 43 位）、東北大学が 132 位（昨年 97 位）にランキングされている。なお、アジアでは、香港大学の 21 位が最高位となっている。

また、今年から地域別のランキングも発表されており、発表された 27 大学中、中国の大学が 6 大学、香港の大学 4 大学、日本の大学 5 大学、大韓民国 4 大学、台湾の大学 4 大学、シンガポールの大学 2 大学、トルコの大学 2 大学となっている。

今回の調査では、研究・教育等の質に関する調査の結果を 34.5%用いている。この調査については、研究者や奨学金等の助成を行う団体等から 13,388 の回答があった。

また、教育部門に関する評価を重視し、指導方法や学習環境を把握するために 5 つの指標を設定し、全体の評価項目のうち 30%を占めている。

また、調査対象者の意見よりも明確な実証となるデータを重視している（前回までは、調査対象者の意見の比重が過半数を占めていたのに対し、今回は 30%強程度となっている）。

## 【WRU2010 に用いられた指標（ ）は評価における項目が占める割合】

- ・ 指導方法-学習環境（30%） ※<>の中は、30%の内訳
  - 指導方法の質に関する調査<15%>
  - 博士課程在籍者数に対する PhD 取得者数<6%>
  - 学部在籍者数に対する学士取得者数<4.5%>
  - 各大学に対する収入<2.25%>
  - 各大学に対する PhD 取得者、学位取得者<2.25%>
- ・ 引用率-研究への影響（32.5%）
  - 引用の効果（論文に関するベンチマーク）
- ・ 研究-ボリューム、収入、評価（30%） ※<>の中は、30%の内訳
  - 研究の質に関する調査<19.5%>
  - 研究に関する収入<5.25%>
  - 論文を作成するに当たって関与する大学・研究職員<4.5%>
  - 研究に対する公的資金／研究に対する総費用<0.75%>
- ・ 国際-職員・学生（5%） ※<>の中は、5%の内訳
  - 自国内の職員に対する海外の職員の割合<3%>
  - 自国内の学生に対する留学生の割合<2%>
- ・ 産業界からの収入-イノベーション（2.5%）
  - 産業界からの研究収入（教員一人当たり）

## 【WRU2009 に用いられた指標】

- ・ 研究の卓越性
- ・ 指導方法の卓越性
- ・ 国際系の教授陣
- ・ 海外留学生
- ・ 学術的なピアレビュー
- ・ 経営者調査